



松ヶ崎小学校コミュニティニュース No.6

平成31年2月28日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

立ち上がれ ねん土 ～地域の土を使って陶芸体験～

4年生

学校運営協議会理事の三宅照男さんから、松ヶ崎地域で、陶芸作品を制作されている陶芸家の清水志郎さんを紹介していただきました。

4年生の図画工作科「立ち上がれ ねん土」の学習で、清水志郎先生に講師として来ていただき、指導をしていただくことになりました。

1月25日（金）の3、4時間目、子ども達は、器に何を乗せたいのかイメージをしながら、学校の近くの山道で落ち葉探しをしました。清水先生からは、山道には粘土の材料になる土が取れるところがあることも教えていただきました。子ども達は、普通の土と粘土質の土の違いを直接手で触りながら比べ、地域の土や落ち葉から作品が出来上がることに興味を示していました。



1月29日（火）の2時間目は、成型に挑戦しました。

まず、粘土をこねて薄い板にしました。思ったよりも力が必要で、大変な作業でした。そして、集めてきた落ち葉を型にして、お皿の形に整えました。みんなで落ち葉を型にしているのに、それぞれの個性が表れたとても素敵なお皿ができました。

できたお皿は清水先生が工房に持ち帰り、一度素焼きをしてくださいました。

2月7日（木）の1，2時間目には，清水先生の工房に行かせていただきました。子ども達は，前回成型したお皿が，素焼きを経て，見た目や触り心地が大きく変わってしまったことに驚いていました。

素焼きをしたお皿には，自分のイメージに合う色を選んで彩色しました。もう一度焼くといよいよ完成です。子ども達は，今度はどんな姿になって帰ってくるのかとても楽しみにしている様子でした。

また，作品を焼いていただいた窯も見学させていただきました。高温で作品が焼ける窯の仕組みに興味津々の子ども達でした。



2月15日（金）の3時間目には，清水先生が焼きあがった作品を持って来てくださり，一緒に鑑賞をしました。子ども達は，色を塗った作品がどんな様子になって返ってくるのかをとても楽しみにして待っていました。返ってきた作品を見て，世界に一つだけの作品が仕上がったことにとっても喜んでいました。また，友達の仕事の良さをたくさん見つけることができました。

これまで，講師の清水志郎先生，学校運営協議会理事の三宅照男さんに，お忙しい中ご協力いただき，素敵な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

